

老人福祉センター横浜市うらしま荘
指定管理者選定委員会

第3期指定管理者選定結果報告書

平成27年8月

1 経緯

老人福祉センター横浜市うらしま荘第3期指定管理者の選定にあたり、横浜市うらしま荘指定管理者選定委員会（以下、「選定委員会」という。）は、応募団体から提出された応募書類の審査や面接審査（プレゼンテーション）を行いました。

このたび、選定委員会による審査が終了し、指定候補者及び次点候補者を選定しましたので、ここに選定結果を報告します。

2 横浜市うらしま荘指定管理者選定委員会 委員

委員長 河原 史郎（神奈川区民生委員・児童委員協議会 会長）

委員 入江 直子（神奈川大学人間科学部 教授）

委員 大山 浩一郎（税理士）

委員 妹島 和美（横浜市新子安地域ケアプラザ 所長）

3 審査対象施設

老人福祉センター横浜市うらしま荘

横浜市神奈川区立町20-1

4 審査の経過

項目	年月日
第1回横浜市うらしま荘指定管理者選定委員会 （公募要項の検討及びスケジュールの確定等）	平成27年4月20日（月）
公募要項の配布期間	平成27年5月14日（木） ～6月29日（月）
応募者説明会及び現地見学会（2団体参加）	平成27年5月26日（火）
公募要項等に関する質問受付（4件受付）	平成27年5月27日（水） ～6月2日（火）
公募要項等に関する質問に対する回答	平成27年6月9日（火）
提案書類の受付（2団体受付）	平成27年6月25日（木） ～6月29日（月）
第2回横浜市うらしま荘指定管理者選定委員会 （応募団体面接審査及び指定候補者選定審議）	平成27年7月27日（月）

5 審査にあたっての考え方

選定委員会では、指定管理者公募要項においてあらかじめ定めた「指定管理者評価基準項目」に従って審査し、評点の高い応募団体を指定候補者として選定しました。

なお、評点は、各委員100点満点とし、最低基準点は、委員の平均点で60点以上としました。

6 応募団体の制限

応募団体について、応募書類により、公募要項に定める応募の資格を持ち、欠格事項に該当しないことを確認しました。

7 審査結果

指定候補者 特定非営利活動法人こらぼネット・かながわ 81.75 点
次点候補者 公益財団法人横浜市老人クラブ連合会 77.75 点

8 審査講評

応募があった2団体について、選定委員会において審査を行った結果、指定候補者及び次点候補者を次のとおり選定しました。

- (1) 指定候補者：特定非営利活動法人こらぼネット・かながわ
横浜市神奈川区幸ヶ谷4番地
理事長 関口 力

選 定 理 由：これまでの指定管理期間の実績に基づき、利用者ニーズを具体的に把握し、事業の実施や空きスペースの活用など、具体的な提案に活かしている。稼働率のアップや職員研修などの人材育成、苦情対応件数の減少など、具体的な数字をもとに、分かりやすく提案書を作成していた。また、施設管理を2期実施していることで、マンネリ化が懸念されたが、利用者ニーズに応えようという姿勢が感じられる。

これらのことを評価して、指定候補者として選定した。

- (2) 次点候補者：公益財団法人横浜市老人クラブ連合会
横浜市神奈川区立町20番地の1
理事長 大澤 謙二

選 定 理 由：他の老人福祉センターでの管理運営実績や、団体としての理念や基本方針を踏まえると、十分基準を満たしていると言える。

プレゼンテーションについては、市老人クラブ連合会としての内容が多く、うらしま荘への理解や独自性についての提案があまり感じられなかった。高齢者への就労相談など、現在の高齢者の状況についての分析もあったが、うらしま荘を運営する上での具体的な提案という点では一歩届かず、評価点第2位となり、次点候補者として選定した。